

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 10月の定例講演会では石橋湛山賞受

賞記念講演を2つ行いました。松元雅和・関西大学准教授と白井聡・文化学園大学助教です。受賞者が二人というのは24年ぶりになります。

しかもお二人とも30歳代という若さです。折からNHK・E.T.Vで言論人、「石橋湛山」を再評価する番組も放映されました。大きな声に迎合せず、客観データで問う言論が時代の風雪に耐えてきた事実改めて感心しました。

10月の新会員をご紹介します。川手弘太郎・シネマシティ代表取締役、田中勇一・武蔵野銀行東京支店長、松本澄子の各氏です。

12月の講師は小此木政夫・慶應大学名誉教授、齊藤惇・日本取引所グループCEO、嶋中雄二・三菱UFJモルガンスタンレー証券景気循環研究所所長を予定しています。

◆中部◆ 名古屋でタクシーの運転手さんに景気の感触を聞くと、「トヨタ自動車の業績は回復しても、下請けが潤うほどではない」とか。中部圏の自動車生産は2006年から08年まで400万台を超えていましたが、その後リーマンショック、東日本大震災を経て300万台底々まで落ちていきます。お風呂で言えば、上は熱くなっても、下の方は冷えている状態のようです。

11月の講師は日本銀行名古屋支店長の梅森徹氏と河野龍太郎・BNPパリバ証券チーフエコノミストを予定しています。

(日暮良一)